

かけがえのない命のために、
たくさんの笑顔と出会うために

美しい自然と人の暮らしが響き合う。
まるでシンフォニーのように。
キッセイ薬品はこの信州で、
新薬の研究開発に取り組んでいます。

KISSEI
キッセイ薬品工業株式会社

https://www.kissei.co.jp

新しい
生きるを、創る。
A new way of life

独自技術で難病に挑み、ひとりの「生きる」に希望をとどける。
ユニークな機能性食品で、みんなの「生きる」を健やかにする。
京都から世界へ。
新しい時代の、新しい生きるを、
わたしたちは、創っていく。

日本新薬
NIPPON SHINYAKU CO., LTD.

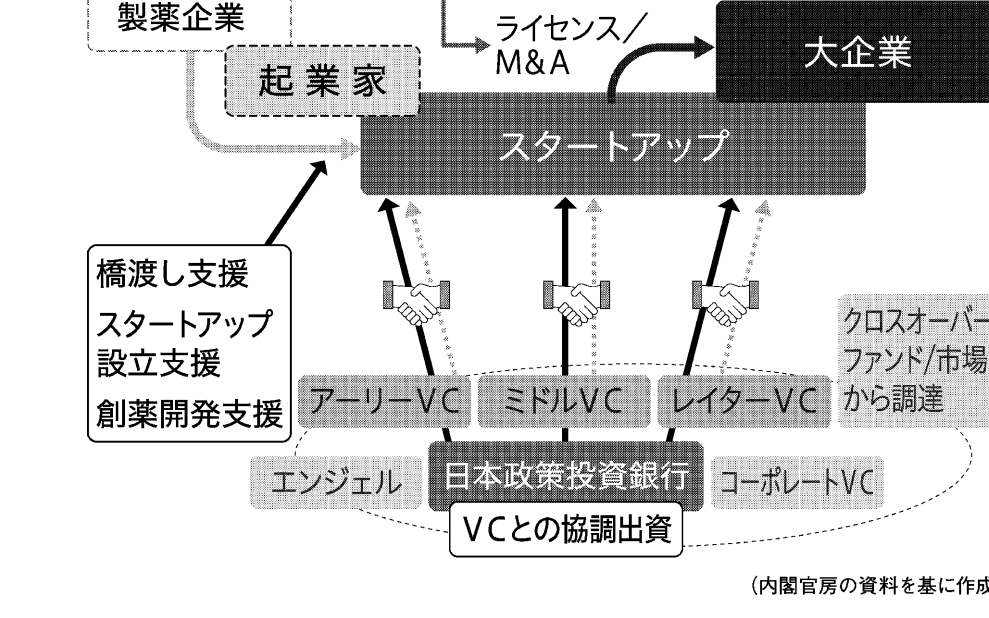
なんとかしたい。
だから、挑む。

人類の歴史にはさまざまな挑戦者がいた。
どんなに失敗しても、彼らの熱意や想いが
何度も立ち上がらせ、その結果、常識を
打ち破り新しい世界を見せてくれた。
医薬はどうだ。
世界一高い山に登り、宇宙や深海を探索
できる時代に、私たちの体の中には未解決
の課題が山積している。
私たちにやるべきことがある。
助けなければならない人がいる。
だから、挑む。住友ファーマ

Sumitomo Pharma
Innovation today, healthier tomorrows

健康と未来 守る

医薬品



政府あげて創業力強化に取り組む方針が示されている
(医療分野の司令塔機能を担う内閣官房)

創業エコシステム

スタートアップ投資倍増

さまざまな場面で耳にする機会が多くなった創業エコシステム。「エコシステム」は本来、「生態系」を示すが、ビジネスの世界では人材、資金、研究機関が有機的に結びついてイノベーションを継続的に生み出す循環を指す。創業においては研究開発から製品化、さらに獲得した資金で次の創業につなげる循環を目指している。その主役となるのは、イノベーションの担い手であるスタートアップだ。政府はこれら企業への支援強化を鮮明にしており、創業スタートアップへの民間投資額を28年までに倍増し、企業価値100億円以上の企業を10社以上輩出する目標も掲げている。

24年末に取りまとめられた政府の総合経済対策には「医薬品を成長・基幹産業と位置づけ、政府が一体となって日本を『創業の地』とする」とことが明記された。その具現化に向け、24年度補正予算に盛り込まれた施策全体の事業規模は、民間資金を含め約1000億円に上った。城内実健康

24年度補正で1000億円

日本「創業の地」に

・医療戦略担当相は施策の意義をこう語る。「基礎研究から製造販売まで創業の事業化の各段階に対応した包括的支援を、政府が一体となって実施することを内外に明確に示す」。

こうした基本姿勢を踏まえ、創業クラスターの施設整備やスタートアップの設立支援、バイオ後継品の国内製造施設などを念頭に、継続的な支援を打ち出すことが示された。

さらに現在、国会審議中の25年度予算案では、これら流れをさらに加速する施策が盛り込まれる。

た。次世代バイオ医薬品の製造・開発を担う人材育成、がんや難病に対する全ゲノム解析・ゲノム医療の推進や産学連携による創業ターゲット予測、シーズ探索AI（人工知能プラットフォーム開発などに予算措置された。

4月には「2025年国際博覧会（大阪・関西万博）」が開幕する。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとするだけに、日本発のバイオやヘルスケア技術に世界の目が注がれる機会となりそうだ。こうした場面も積極的に捉え、創業に携わる幅広い関係者が世界のエコシステムとの接点を深め、循環の輪を力強く回し、競争力を高めることにつなげたい。

大阪・関西万博は日本の健康、医療関連産業を対外的に発信する機会となる（会場のシンボル「大屋根リング」の木造建築部分）

知られるボストン、英国として知られる。こうした世界的な潮流を踏まえ、日本も目指す姿を明確に示し、関係者を巻き込んでいく姿勢が問われる。

創業エコシステム

スタートアップ投資倍増

さまざまな場面で耳にする機会が多くなった創業エコシステム。「エコシステム」は本来、「生態系」を示すが、ビジネスの世界では人材、資金、研究機関が有機的に結びついてイノベーションを継続的に生み出す循環を指す。創業においては研究開発から製品化、さらに獲得した資金で次の創業につなげる循環を目指している。その主役となるのは、イノベーションの担い手であるスタートアップだ。政府はこれら企業への支援強化を鮮明にしており、創業スタートアップへの民間投資額を28年までに倍増し、企業価値100億円以上の企業を10社以上輩出する目標も掲げている。

24年末に取りまとめられた政府の総合経済対策には「医薬品を成長・基幹産業と位置づけ、政府が一体となって日本を『創業の地』とする」とことが明記された。その具現化に向け、24年度補正予算に盛り込まれた施策全体の事業規模は、民間資金を含め約1000億円に上った。城内実健康

24年度補正で1000億円

日本「創業の地」に

・医療戦略担当相は施策の意義をこう語る。「基礎研究から製造販売まで創業の事業化の各段階に対応した包括的支援を、政府が一体となって実施することを内外に明確に示す」。

こうした基本姿勢を踏まえ、創業クラスターの施設整備やスタートアップの設立支援、バイオ後継品の国内製造施設などを念頭に、継続的な支援を打ち出すことが示された。

さらに現在、国会審議中の25年度予算案では、これら流れをさらに加速する施策が盛り込まれる。

た。次世代バイオ医薬品の製造・開発を担う人材育成、がんや難病に対する全ゲノム解析・ゲノム医療の推進や産学連携による創業ターゲット予測、シーズ探索AI（人工知能プラットフォーム開発などに予算措置された。

4月には「2025年国際博覧会（大阪・関西万博）」が開幕する。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとするだけに、日本発のバイオやヘルスケア技術に世界の目が注がれる機会となりそうだ。こうした場面も積極的に捉え、創業に携わる幅広い関係者が世界のエコシステムとの接点を深め、循環の輪を力強く回し、競争力を高めることにつなげたい。

大阪・関西万博は日本の健康、医療関連産業を対外的に発信する機会となる（会場のシンボル「大屋根リング」の木造建築部分）

知られるボストン、英国として知られる。こうした世界的な潮流を踏まえ、日本も目指す姿を明確に示し、関係者を巻き込んでいく姿勢が問われる。

創業エコシステム

スタートアップ投資倍増

がん治療に個性を。

臓器や発症部位だけでなく、
DNAのレベルで向き合う。
そんながん治療はできないだろうか。
中外製薬は、患者それぞれの
がん遺伝子変異に合わせた
「がんゲノム医療」に貢献しています。

創造で、想像を超える。

CHUGAI 中外製薬
Roche ロシュグループ

病氣になっても、自分らしく生きていける。第一三共が実現したいのは、そんな薬づくり。

ADC技術も、そのひとつ。がん細胞を狙って攻撃し、身体への影響を最小限に抑えることを目指しています。2人に1人ががんになるといわれる時代だからこそ、わたしたちはその闘い方を進化させたい。どこまでも人を想い、サイエンスを究めつづける中で。

イノベーションに情熱を。
ひとに思いやりを。

サイエンス。それは、希望。

Daichi-Sankyo

医薬品産業



がんと戦う人に
新たな選択肢と、
希望を。

がん免疫分野への挑戦。
それは、がんと戦う人に
新たな希望をもたらすために始まった。
そしてこの先も、私たちは止まらない。
次の希望をこの世に生み出す
その日のために。

**BREAK
THROUGH**
ONCOは挑戦で、未来を築く

小野薬品工業株式会社

allī

誕生

内臓脂肪減少薬

アライ

日本初

お腹が太めな方に朗報です。

腹囲 97cm → 96cm

購入には生活習慣の記録が必要です。

大正製薬 アライ

検索

← 詳しくはこちら

要指導医薬品

効能：腹部が太めな方注)の内臓脂肪および腹囲の減少（生活習慣改善の取り組みを行っている場合に限り）
注) 腹囲（へその高さ）：男性85cm以上、女性90cm以上 ※上記効能の条件を満たしている方
「この医薬品は、薬剤師から説明を受け、「使用上の注意」をよく読んでお使いください。」18才未満の方はご使用できません

よりよい明日のために。知ろう。発作性夜間ヘモグロビン尿症（PNH）のこと。

PNHってなに？

検査と治療について

日常生活について

PNHの悩みごとや疑問

PNH用語集

中外製薬のPNH疾患啓発サイト

疾患啓発 新たな治療薬実用化

PNH

2024年5月、発作性夜間ヘモグロビン尿症（PNH）の治療薬「アライ」が、日本初として「ピアスカイ」を国内で発売した。ピアスカイは、患者の負担も軽減する。筑波大学の小原直教授は「PNHは長期間の治療が必要となる疾患で、通院が大きな負担となる。皮下注射による投与は点滴が難しい患者にとってメリットとなる」と説明する。また、体重が40kgを超えている患者であれば年齢に制限はないことも特徴で、これまで治療が難しかった患者への新たな選択肢として期待される。

また、中外製薬では医薬品の安全性情報の提供も工夫する。医師や薬剤師向けに医薬品の情報を提供するデータベース（DB）「副作用DBツール」を刷新。簡単な操作で、医薬品の副作用や患者の情報、症状が起きやすい時期などが分かりやすく表示される。また、医師の添付文書などにもシステム上からアクセスできる。必要な情報を少ない操作で入手でき、より適切な治療につながる。パソコンやタブレット端末で利用可能となっている。

サイト新設、最新情報

独自の抗体技術 4週に1回、皮下投与

新たな副作用DB刷新

少ない操作で必要な情報を提供

新薬、根本に作用

医師・患者—治療の開始選択

アルツハイマー病（AD）治療が転換点を迎えている。これまでのAD治療はいかに症状を制御するかという対症療法的なアプローチに限られていた。新薬の登場により、疾患の原因に働きかける治療が可能となり、疾患への向き合い方や治療のあり方にも変化が起きている。

ADは脳の神経細胞に病気の原因とされるたんぱく質「アミロイドベータ（β）」が蓄積することで神経細胞の脱落を招くことが原因だとされる。ミラーライリリーの「ケサンラ（一般名：ドナナマブ）」は、アミロイドβを標的とした抗体医薬品で、これまでの医薬品と異なり病気の根本

アルツハイマー

アルツハイマー病（AD）治療が転換点を迎えている。これまでのAD治療はいかに症状を制御するかという対症療法的なアプローチに限られていた。新薬の登場により、疾患の原因に働きかける治療が可能となり、疾患への向き合い方や治療のあり方にも変化が起きている。

ADは脳の神経細胞に病気の原因とされるたんぱく質「アミロイドベータ（β）」が蓄積することで神経細胞の脱落を招くことが原因だとされる。ミラーライリリーの「ケサンラ（一般名：ドナナマブ）」は、アミロイドβを標的とした抗体医薬品で、これまでの医薬品と異なり病気の根本

患者様の想いを見つめて、薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。病気とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きたことへの希望。私たちは、医師のように普段から会えることはできませんが、そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていきたいと思ひます。治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。病気を見つめるだけではなく、想いを見つめて、薬は生まれる。「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ

選択肢をつくる。
希望をつくる。

なんでも選べるこの時代に、
まだ選択肢が足りない世界があります。
そこでは、たったひとつの選択肢が生まれることが、
たくさんの希望につながります。
だから、田辺三菱製薬はつくります。

病と向き合うすべての人に、希望ある選択肢を。

この国でいちばん長く培ってきた
薬づくりの力を生かして、
さまざまな分野で、挑みつけていきます。
そこに待っている人がいるかぎり。

田辺三菱製薬

https://www.mt-pharma.co.jp/

医薬品産業

愛知ブランド企業認定
愛知県 認定番号 508

次世代の国産ワクチンをつくる。

世界の片隅で発生した感染症が短期間で世界中に広がる。

グローバル化は、感染症の拡がりも加速させた。

製薬において「安全」は、もちろん最優先。

その上で、これからのワクチン開発に求められるのは、

感染症拡大に負けない「スピード」であると私たちは考えます。

世界では、新型コロナウイルスだけでなく、

エムボックス(サル痘)やデング熱など感染症の脅威は続いている。

さらに気候変動などの影響で、

未知の感染症が発生するリスクも指摘されている。

コロナ禍において日本はワクチン開発で他国に遅れを取り、

海外のワクチンに頼らざるを得ませんでした。

次の感染症流行への備えとして、

国内で必要な時に必要なワクチンを開発し、生産できる体制を

私たちMeiji Seika ファルマは目指します。

未来まで守れ。

Meiji Seika ファルマ株式会社

生活者の身近で健康支える

OTC医薬品

一般用医薬品（OTC）は生活者の身近で健康を支える。近年はコロナ禍での経験や健康意識の高まりを追い風に、高付加価値の製品を求めるといった消費行動の変化も生まれた。こうした中、大正製薬は内臓脂肪と腹囲の減少を助ける「アライ」を発売した。

アライの開発に携わった大正製薬の藤田透は、例えば生活習慣病の診療中の人に誤ってグループマネージャーを販売するといった不適切な販売や使用を防ぐことを目指す。

摂取した脂肪は脂質分解酵素「リパーゼ」によって分解され、脂肪として貯蔵される。アライはリパーゼの働きを阻害し脂肪の吸収を抑えることで、内臓脂肪の減少を助ける効果が期待される。アライの使用の対象となるのは、腹囲が85センチ以上の男性、90センチ以上の女性で、生活改善に取り組んでいることや糖尿病などの慢性疾患がないといった条件も設定される。

アライは、医療用医薬品としての発売を経るなど、安全な使用を徹底する。

こうした仕組みは、アライの安全使用に加えて使用者の意欲向上にも効果があるという。大正製薬の増田啓一は「薬剤師からの対面販売とすることで、購入者からは『本気で取り組む意志が芽生え

ダイレクトOTC
安全な使用 徹底

た」というポジティブという。 「（医療用医薬品からOTC医薬品に切り替わった）スイッチOTCの種類や対象を心配する声もある。後拡大した場合、製品の適正使用において今回作り込んだ販売基盤やノウハウを生かすことができる」（藤田マホカ、心疾患など重篤な疾患のリスクとなり得るため、対策を考える「セルフメディケーション」の考え方が生活改善のやり方の多少しずつ広がる中、OTC医薬品の持つ価値が難しい、また取り組んでも続けるのが難しといった課題も多い。藤田マネージャーは「内臓脂肪を減らす選択肢としてアライが浸透し、当たり前になってほしい」と話す。を



大正製薬の「アライ」

アライの販売を通じて大正製薬が構築した薬局や薬剤師などの医療ネットワークは、将来的にさらなる活用が期待できる

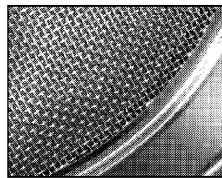
JIS試験用ふるい&ふるい振盪機の専門メーカー

ES-65型の特徴

- 1.ロータップ型の運動状態を応用しておりますので効率が高いです。
- 2.最小内径75mmのふるいまで使用出来ます。
- 3.小型で研究室から研究室への移動が容易に出来ますので、使用して頂く研究室相互の間で兼用出来て経済的です。



実用新案型ふるい



金網と枠部が一体構造になっています。

SIK

株式
会社

飯田製作所

URL <https://www.iida-ss.com/>